

一、大報恩会の中止 お知らせ

本年度の報恩会は、昨年同様コロナの感染予防の為に、総代様のみ出席で執り行います。

つきましては、同封の郵便振替用紙にて

ご供養料五千円を、ご送金をお願い致します。

当寺にてお塔婆を上げ供養させて頂きます。

尚、式の様子は、HPの動画で皆様には見ていただけたら幸いです。

【検索方法】 PC 又はスマホで、インターネットに接続。

グーグルなどで 『東陽寺を知る』と入力し、検索。

東陽寺ホームページ メイン画面の「東陽寺を知る」を押し、ギャラリー画面を開き 報恩会の所で動画が見られる。

● 日 時 五月二十三日(第4日曜日)

午後2時より

総代様のみ参加

● その他

春の彼岸の折、御檀家様の名簿作成をお願いしました。まだ寺に提出していない方は、家族欄・連絡先等をご記入後、寺に返信をお願い申し上げます。

二、東陽寺 八大ニュース

令和二年を振り返り、住職独断の東陽寺八大ニュースを挙げてみます。

第一位は、二十年又は三十年に一度の寺の最大行事である住職交替の儀式、退董式（住職の引退の式）・晋山式（新しい住職が寺に来る儀式）が十一月三日執り行われた。

第二位は、東陽寺のホームページが開設され、お持ちのスマートフォンやパソコンからインターネットを通じて東陽寺のHPを見ることが出来るようになった。
（法要・御塔婆申込みにはパスワード『1229』が必要です。）

【検索方法】 グーグルなどで 『東陽寺を知る』 で検索

第三位は、お寺の責任役員である黒川泰芳様が、高齢の為辞任することになった。この結果、檀家総代は、藤田光春様と中村彰様の2名体制となった。

第四位は、昨年五月は新型コロナウイルスの蔓延により、報恩会は、総代様三名だけの法要参列で行われた。

第五位は、昨年四月に上野国立博物館の法隆寺金堂壁画展・寛永寺参拝を予定していたが、新型コロナウイルスの蔓延により、檀信徒研修会が急遽中止となった。

第六位は、新型コロナウイルス対策・医療への支援の為に寺として、日本赤十字社に三十万円寄付した。

第七位は、新住職就任のお祝い寄進者（五万円以上寄進者）
百万円 長野榮子様
十万円 小林俊治様
五万円 藤田光春様 名越登子様

第八位は、新檀家様ご紹介
田中恵子様が入檀した。引き続きご親戚や近所の方等、良き人を寺にご紹介下さい。

以上が令和二年の東陽寺 八大ニュースです。

三、黒川総代様からの寄稿

黒川様は、平成十一年十二月より寺の責任役員に当時住職であった前任職宰朋（東堂）が任命し、二十数年に亘り檀家代表として寺に尽力を尽くして頂いた方です。

この度、宰朋住職の退董に当たり、本人から高齢の為、辞任したい強い意向がありました。

そこで、今後は黒川様に寺の責任役員相談役として、責任役員を補佐する立場で活躍して頂くことになりました。

今回は、責任役員辞任するにあたり、一言お言葉を頂きまして、この度掲載させて頂きます。

拝啓

大寒の候皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、高齢の為長年に亘りお世話になりました責任役員を辞任させて頂くこととなりました。故名誉総代の長野様のように百歳まで、お元気で務められ、私もそれに見習いたいと思っておりましたが、今年卒寿を迎えるにあたりまして、自分の健康に自信が持てなくなりました。

先代の方丈様を中心に和合に務められた役員並びに檀信徒の皆々様の温かいご理解とご協力を賜り、何事も無くこの大役を果たすことが出来ましたことは、誠に有り難く、心から感謝申し上げます。

思えば私達にとつての東陽寺は歴史と伝統に輝く堅実無比の名刹であり、ご先祖様との固い絆で結ばれた心の故郷であります。又、複雑多様な現代社会に生きる我々にとつて、大慈大悲の生き方を学ぶ道場でもあり、日常生活における心の支えそのものであります。

それ故にこそ、更なる隆盛発展を切望し、今後とも檀信徒の皆々様の益々のお力添えを念願せずにはられません。以上、誠に略文ではありますが、今後とも微力を尽くしますが、これをもちまして責任役員辞任の挨拶にかえさせていただきます。

合掌

この場を借りて寺の体制につきお知らせします。

代表役員	西垣慶一	（住職）
責任役員	藤田光春	（檀家代表）
責任役員	中村彰	（檀家代表）
責任役員	西垣一子	（大黒）
責任役員相談役	西垣宰朋	（東堂）
責任役員相談役	黒川泰芳	（檀家代表）
顧問弁護士	富田和弘	
顧問税理士	飯島敏光	

四、晋山・退董式 写真

